

笠間市 RPA 導入・運用支援業務にかかるプロポーザル審査要項

笠間市 RPA 導入・運用支援業務にかかるプロポーザル審査要項は、提案書等により、次のとおり審査・評価するものとする。

1 評価方法

選定にあたっては、笠間市 RPA 導入・運用支援業務に係るプロポーザル審査委員会(以下「審査委員会」という。)を設置し、優先交渉権者及び次点交渉権者を選定する。

提案者の提案書等について、次により評価する。なお、プレゼンテーション(技術提案審査会)の実施手順等については、別途通知する。

- (1) 技術提案書評価
- (2) 笠間市 RPA 導入・運用支援業務見積内訳書(以下「見積内訳書」という。)による価格評価

2 評価項目及び配点表

技術点及び価格点の得点配分は次のとおりとする。

表1 評価項目別得点配分表

| 項目 | 評価項目 | 得点配分 | 配分割合 |
|-----|----------|-------|------|
| 技術点 | 技術提案書評価 | 400 点 | 80% |
| 価格点 | 見積書による評価 | 100 点 | 20% |
| | 合 計 | 500 点 | 100% |

1) 技術提案書評価

別紙、技術提案書評価基準書の評価項目ごとに以下の区分により評価を行い、評価項目ごとの配点に当該区分の係数を乗じた値を評価項目ごとの内容点とし、その合計点を審査者ごとの評価点とする。

表2 評価係数表

| 評価 | 評価の考え方 | 係数 |
|----|----------------------------|-----|
| A | ・仕様書の要求事項に対して特に優れた提案である。 | 1.0 |
| B | ・仕様書の要求事項に対して優れた提案である。 | 0.7 |
| C | ・標準的である。仕様書を概ね満たしている。 | 0.5 |
| D | ・標準以下である。仕様書を満たしていないものがある。 | 0.3 |
| E | ・不十分な提案である。提案漏れがある。 | 0.0 |

2) 価格点

以下の計算式で計算する。

価格点＝価格点（ア）＋価格点（イ）

ア 本年度の見積額に対する価格点

価格点（ア）＝ 60 点 ×（提案者中最低の見積価格／提案者の見積価格）（1 点未満は切り上げる。）

イ 令和 2 年度の見積額に対する価格点

価格点（イ）＝ 40 点 ×（提案者中最低の見積価格／提案者の見積価格）（1 点未満は切り上げる。）

（注意事項）

提案者の本年度の見積額が、笠間市 RPA 導入・運用支援業務の公募型プロポーザル実施要領 9. 業務の規模の上限額を超えた場合は、0 点（失格）とする。

(別紙) 技術提案書評価基準書

(審査員名)

印

| 仕様書要件 | 評価ポイント | 仕様書・様式等 | 配点 | 評価 |
|----------|--|--|--|-----|
| 1 | 会社概要、財務状況、業務実績 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 14. 提案者情報 ・ 様式 3-1 (企業概要書・業務実績書) ・ 様式 3-2 業務協力企業確認書 | 10 | |
| | 提案するRPA等ツールについて、自治体や官公庁への導入実績が多いか。類似業務での導入実績があるか。 | | 30 | |
| 2 | 業務への理解 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 4. 業務の目的 ・ 4. 業務の目的 ・ 16. 留意事項(1), (2) | 20 | |
| | RPA等ツール導入の意図について十分な理解があるか。提案するRPA等ツールが職員が作成・運用しやすいものか。自社で一般職員が活用するなど導入が容易であるか。 | | 50 | |
| 3 | 導入計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 5. 想定スケジュール ・ 様式 4-2 工程計画書 | 20 | |
| 4 | RPA等ツール導入対象業務 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 6. 業務内容(1)RPA等ツール対象業務及びRPAシナリオ作成等 ・ (別添) RPA等ツール要件項目一覧表 > 4. 導入・運用支援要件 > (2) 対象業務 | 30 | |
| 5 | RPA等効果検証 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 6. 業務内容(2) RPA等ツール導入後の効果検証 ・ 16. 留意事項(3) | 20 | |
| 6 | 研修 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 6. 業務内容(3) 研修 | 20 | |
| 7 | シナリオ等作成支援、運用支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 6. 業務内容(4) 職員が行うRPAシナリオ作成、AI-OCR帳票設定及び運用支援 ・ (別添) RPA等ツール要件項目一覧表 > 4. 導入・運用支援要件 > 「(1)シナリオ作成支援・運用支援」 | 30 | |
| 8 | RPA等ツール数 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 7. RPA等ツール導入数 | 20 | |
| 9 | RPA等ツール動作環境 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 8. RPA等ツール動作環境 ・ 9. 基幹系システムにかかる留意事項 ・ (別添) RPA等ツール要件項目一覧表 > 1 ネットワーク環境等及び3. RPA等ツール要件 > (5)ライセンス | 20 | |
| 10 | RPA等ツールの機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 10. RPA等ツール要件 | 90 | |
| 11 | 業務実施体制等 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 11. 報告書等 ・ 12. 定例報告会及びレビュー ・ 13. 推進体制 | 10 | |
| | 想定する報告書等は妥当な内容か 円滑な推進が期待できる体制か | | 10 | |
| 12 | セキュリティ対策 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 17. 再委託、機密保持、契約終了時等要件 | 10 | |
| 13 | プレゼンテーション | 本業務積極的に取り組む姿勢がうかがえるか。 | 10 | |
| I 提案書評価計 | | | 400 | |
| 1 | 価格点 | 令和元年度費用の価格点 | $60 \times (\text{令和元年度見積額の最低価格} / \text{提案者の提案価格})$ | 60 |
| 2 | | 令和2年度費用の価格点 | $40 \times (\text{令和2年度見積額の最低価格} / \text{提案者の提案価格})$ | 40 |
| II 価格点合計 | | | 100 | |
| | | | 評価点合計 | 500 |